

会 議 記 録

高松市附属機関等の設置、運営に関する要綱の規定により、次のとおり会議記録を公表します。

会 議 名	令和5年度第1回高松市社会教育委員会議
開催日時	令和5年9月25日(月) 午後1時～2時45分
開催場所	高松市役所11階 114会議室
議 題	(1) 審議事項 (ア) 生涯学習事業の推進状況報告について (イ) 次期高松市教育振興基本計画(生涯学習・社会教育関係部分)の素案(案)について (2) 報告事項 学校運営協議会について (3) その他
公開の区分	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 一部公開 <input type="checkbox"/> 非公開
上記理由	—
出席委員	山神委員、岡委員、大村委員、笠井委員、松下委員、野上委員、山口委員、合田委員、松田委員 (欠席委員0名)
傍聴者	1名(定員5名)

会議の経過及び結果

(1) 審議事項

(ア) 生涯学習事業の推進状況報告について

生涯学習事業の推進状況報告について、事務局から説明し、委員から次のとおり意見があった。

(委員)

No.36「いじめや不登校に関する相談事業」について、相談件数におけるいじめと不登校の割合を教えていただきたい。

また、この相談事業についての告知はどのようにされているのか。

(事務局)

件数の内訳については、数字を持ち合わせていないが、令和4年度から「いじめ案件」に加え「不登校案件」についての相談も受付を開始し、市HIPにも「不登校」に関する相談も対応している旨を周知している。全体としては、令和3年度より多くの相談に対応することができた。

(委員)

保護者や子どものどちらからの相談なのかや、件数などが公開されていれば、相談する側もより相談しやすくなるのではないか。

(委員)

デリケートな内容なので可能な範囲で公開を検討していけばよいのではないか。

(事務局)

相談内容や内訳等、公開可能かどうかを含めて担当課と協議したい。

(委員)

前年度を下回った主な事業がC評価ということだが、それらの事業は廃止等の検討はされるのか。

(事務局)

C評価となった事業のほとんどがコロナの影響によるものである。C評価になったことで廃止等

## 会議の経過及び結果

を検討することはないが、取組の状況について庁内で情報共有をしながら、各課で実施している生涯学習事業の進め方等の参考にさせていただきたいと考えている。

(イ) 次期高松市教育振興基本計画（生涯学習・社会教育関係部分）の素案（案）について高松市生涯学習市民意識アンケート調査の素案について、事務局から説明し、委員から次のとおり意見があった。

(委員)

3点ほど御検討いただきたい。

1点目は、障がいのある方の生涯学習について、現在は知的障がいのある方を対象とした事業を実施しているが、対象を広げるなど、障がいのある方向けの生涯学習の充実を図ってほしい。

2点目は、地域学校協働活動推進員の配置に向け、まずは、まなびCAN等で実施している講座に、地域に関心を持ってもらえるような内容を盛り込むなどの検討を進めていただきたい。

3点目は、情報モラル教育について、家庭内で活用できるような素材の提供についても検討していただきたい。

また、情報モラル教育の対象を現在の小学3・4年生から、低年齢化できないか検討していただきたい。

(事務局)

1点目の障がいのある方の生涯学習に関する取組について、計画に盛り込むことを検討していきたい。

(事務局)

2点目の地域学校協働活動推進員の育成等につながる講座について、まなびCANとして、まちづくりのための人づくりの役割を担うことができなかと考えている。気軽に講座に参加できるような仕掛けを検討していきたい。

(事務局)

3点目の情報モラル教育について、総合教育センターで作成している「GIGAワークブックたかまつ」が教材になると考えている。

情報モラル教育の対象者については、「家庭教育応援講座」において、幼稚園やこども園の保護者向けの啓発も実施している。

(委員)

先日、大学生が情報モラル教室の出前授業をしており、子どもたちが目を輝かせながら話を聞いているのをニュースで見た。他の分野においても高校生や中学生等の各世代が関わることで、将来の担い手づくりにつながる取組ができるのではないかと考えている。

(事務局)

香川大学のサイバー防犯ボランティアのSETOKUさんと連携し、大学生によるインターネットセキュリティ教室を実施している。授業の振り返りをして、かなり深い学びができているということで、非常に効果があると考えている。

(委員)

私が活動している団体においても、大学生との連携など、生涯学習に役立てられるような取組

の情報が欲しいと感じることがある。情報を探しやすい仕組みがあればいいのではないか。

(事務局)

様々な団体や大学、企業等の連携というところをより推進していくことが必要だと考えている。地域学校協働活動推進員の配置を推進していくことも、地域の中での情報共有につながると考えている。

(委員)

次期計画の取組に就学時健康診断等を活用した家庭教育応援講座の開設とあるが、具体的な講座の内容を教えてください。

(事務局)

子育てに役立つ講座や、親子ふれあい体操などがある。こうした講座内容と講師が載ったリストを学校や幼稚園、保育所等に提供し、就学時健康診断を中心に参観日等、親が集まる機会に講座を開設している。

(委員)

そのリストは一般に公開されていないのか。

(事務局)

学校へ講師を派遣するという事業で、一般の方からの申請を受け付けてはいないため、公開はしていない。

(委員)

次期計画の基本目標1・2が学校教育、3・4が生涯学習・社会教育という分け方をしているが、本来であれば生涯学習は学校教育と社会教育を包含した意味合いで使われるので、この分け方に少し違和感を持ってしまう。

また、大学との連携について、具体的な方策等があれば教えてください。

(事務局)

次期計画の基本目標については、庁内で検討した結果、お示した体系になっているので御理解いただきたい。

大学との連携については、大学・地域・子どもたちそれぞれにメリットがあるように、互いにwin-winの関係になれるような仕組みが重要であると考えている。

(委員)

地域学校協働活動推進員として、学校・家庭・地域をつないでいくには、お互いに情報交換ができて、必要な知識を学べる機会というのが大切だと感じた。

また、防災教育は命に関わる内容でもあるので、地域と連携しながら実施していただきたい。

(委員)

次期計画には、「多様な」というキーワードがたくさん出てくるが、いろいろな人が一緒になって活動し、少数派にも優しい教育を進めてほしい。

(2) 報告事項「学校運営協議会について」

学校運営協議会について、事務局から説明し、委員から次のとおり意見があった。

(委員)

昨年まで学校運営協議会の招集は、校長先生が行っていたが、今年度からは誰が招集するのか。

また、協議会での資料や協議内容など、子どもや保護者、地域の方々に知っておいていただきたいことについて、情報共有できないのか。

(事務局)

学校運営協議会の開催案内については、学校からの案内になるが、委員の委嘱や任命といった部分については、教育委員会が行うようになる。

情報共有については、委員の皆様は特別職の公務員という位置づけになるため、守秘義務が課せられる。地域の方々などに必要な情報をどう伝えていくかについては今後検討していきたい。

(3)「その他」について事務局及び委員に意見等がないか確認する。

取り組んでいることで、紹介したい内容がないか確認する。

**【事務局からの報告事項】**

- ・「まなび図鑑の開設について」を説明

**【委員からの取組紹介】**

- ・「中野武宮」について紹介

その他意見等はなかったもので、以上をもって、本日の会議を閉会することとした。

以上